



～大仙市こども計画の策定にあたって～

こどもたちは地域の未来そのものです。

大仙市ではこれまで、こどもや子育て施策を最も重要な「未来への投資」と位置づけ、子育て世帯の経済的負担の軽減や子育てに関する相談機能の強化など、「こどもに寄り添い、子育てに優しいまちづくり」の実現に向けたソフト・ハード両面における幅広い施策を展開してまいりました。



しかしながら、少子化の進行をはじめ、価値観や生活様式の多様化などにより、こども・若者や子育てに関わる方々を取り巻く環境は絶えず変化しており、様々な困難や新たな課題に対応できずにいるこども・若者が存在するほか、児童虐待やいじめなどの権利侵害も依然として存在するなど、多くの解決すべき問題が山積しております。

保護者の皆様においても、地域コミュニティの希薄化による子育て時の孤独感の増幅や、物価上昇をはじめとする社会の不安定化に起因する経済的な問題など、様々な不安や悩みを抱えるケースが増えております。

また、人生の選択肢の多様化により、これまでにはなかった新たな価値観が認められるようになるなか、こどもを持つ選択をされた方が、子育てにより自己実現の機会や自分の時間を過度に犠牲にすることのない環境づくりを推進し、出産・子育てに喜びと生きがいを感じられる地域社会にしていく必要があります。

こうしたことを受け、地域の各主体の役割を確認したうえで、社会情勢の変化や多様化するニーズに対応し、より包括的な視点で柔軟に取組を推進するため、本市の新たなこども・子育て施策の羅針盤となる「大仙市こども計画」を策定いたしました。

申し上げるまでもなく、こども・子育て支援は最も重要な社会福祉施策の一つであり、個人の希望の実現はもとより、社会全体の幸福につながるものです。

本計画のもと、地域社会全体でこどもや若者にとっての最善の利益とは何なのかを今一度考えながら、こどもを中心に据えた真に必要な取組を展開し、基本理念である「全てのこどもがこころ豊かで健やかに育つとともに、子育て当事者が安心して子育てを楽しむことができるまち」の実現、ひいては「こどもまんなか社会」の実現に向け、皆様とともに全力で取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、様々な視点から議論をいただいた「大仙市子ども・子育て会議」の委員の皆様をはじめ、各種アンケート調査やパブリックコメントにご協力いただきましたすべての市民の皆様に、心から感謝を申し上げます。

令和7年3月

大仙市長 老松 博行

目 次

第1章 計画の概要

1	計画策定の趣旨.....	2
2	計画の位置づけ.....	3
3	計画の対象者.....	5
4	計画の期間.....	5
5	計画の進行管理.....	5
6	SDGsの理念に沿った計画の推進.....	6

第2章 大仙市の現状

1	人口の動向.....	8
2	母子・父子世帯の状況.....	11
3	就労の状況.....	12
4	障がいや困難を抱えるこどもの状況.....	13
5	こども・若者や家庭を取り巻く状況（ニーズ調査の結果）.....	14
6	こども・若者・保護者の意識・意向.....	22

第3章 計画が目指すもの

1	基本理念.....	34
2	こどもまんなか社会.....	34
3	基本的な視点.....	36
4	基本目標.....	37
5	計画の実現に向けた各者の責務、役割.....	37
6	計画の体系.....	40

第4章 取組の方向性と施策

- 基本目標Ⅰ すべてのこどもの生まれ持った環境に左右されることのない幸せな成長を支えます
【すべての成長過程（ライフステージ）を通した支援】 43
- 基本目標Ⅱ 誰もが安心してこどもを産み育てることができる環境をつくります
【こどもの誕生前から幼児期における支援】 57
- 基本目標Ⅲ こどもの健やかな成長と郷土を愛する豊かな心の育ちを支援します
【こどもの学童期・思春期における支援】 64
- 基本目標Ⅳ 若者の夢と希望を応援します
【こどもの青年期における支援】 70
- 基本目標Ⅴ 安心感と自己肯定感をもてる、ゆとりある子育てをサポートします
【子育て当事者に対する支援】 77

第5章 大仙市子ども・子育て支援事業計画 ～ニーズとサービス量の見込み～

- 1 教育・保育提供区域の設定 90
- 2 量の見込みと確保の方策 93

資料編

- 1 意見聴取結果 119
- 2 大仙市子ども条例 129
- 3 大仙市子ども・子育て会議条例 132
- 4 大仙市子ども・子育て会議委員名簿 134
- 5 子育て支援制度等検討会議設置要綱 135
- 6 子育て支援制度等検討会議委員名簿 137

